

2015年10月30日

皆様

この度、ケベック学会がベルギー研究会との共催で、西日本地区において初めての研究会を開催することになりました。下記の内容が示す通り、充実した研究会となると思っておりますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

なお、このお知らせは、研究会開催の予告として、1月初旬にプログラムと発表概要を添付した正式の案内をお送りし、Webあるいは電子メールにより参加申込をいただくつもりであります。皆様方には今からお心積もりいただき、ぜひ積極的にご参加いただきますようお願いいたします。この案内はケベック学会とベルギー研究会の会員の方々だけでなく、いろいろな方にお送りしています。両会の会員のみならず、多くの方の参加をお待ちしております。

日本ケベック学会西日本地区第1回研究会
企画委員長 丹羽卓

記

ケベック学会西日本地区第1回研究会（ベルギー研究会共催）

開催日時：2016年2月13日（土）午後1時開会、午後5時30分閉会

会場：阪南大学あべのハルカスキャンパス（大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43「あべのハルカス」23階オフィスフロア）

参加費：無料

研究会タイトル：「多言語社会ケベックとベルギー — その言語状況と舞台芸術」

発表：（発表題はすべて仮題）

第1部「ケベックとベルギーの言語状況」

大石太郎（関西学院大学）

「ケベックのアングロフォン—現状と今後の展望—」

石部尚登（日本大学）

「ベルギーの言語としてのフランス語—ワロン運動における言語観から—」

第2部「ケベックとベルギーの舞台芸術」

高橋信良（千葉大学）

「ベルギーの現代舞台芸術—リアリティとフィクションの狭間で—」

藤井慎太郎（早稲田大学）

「ケベックの地域主義・文化政策・舞台芸術」

なお午後6時から懇親会を予定しておりますので、こちらにもどうぞご出席ください。

企画委員長：丹羽卓（金城学院大学）

実行委員長：真田桂子（阪南大学）

企画委員・実行委員：岩本和子（神戸大学）、大石太郎（関西学院大学）、真田桂子（阪南大学）、丹羽卓（金城学院大学）